



検査室だより

厳しい冬も終わり桃や桜の蕾もふくらんできました。お内裏様とお雛様も春の日差しが眩しそうです。お雛様のように穏やかな笑顔で過ごせるといいですね。

一日、24時間。一年、365日。生まれてから死ぬまで一生。ずっと休みなく動き続けている心臓。全身に血液を送り出す働きをしています。感謝の気持ちをこめてたまにはメンテナンスをしましょう。どんな検査があるのでしょうか。

まず第一に思いつくのが「心電図」。心臓の筋肉が出すわずかな電気を記録する検査です。心臓がリズムカルに動いているか、心臓の筋肉に異常がないかどうかを見ます。24時間記録し続けるホルター心電図や、自転車をこいで心臓に負担をかけた後に記録する負荷心電図などもあります。



次に、「超音波検査（エコー）」。実際に動いている心臓を画面に映し出し、大きさ、壁の厚さ、心臓弁の動きをみます。血液の逆流がないか、血流の速さも観察できます。検査の痛みもなく30分くらいで終わります。

血液検査でわかることもあります。「NT-ProBNP」という検査で、心電図や心エコーなどでは見つけにくい心臓のストレスをチェックします。



ドクターがあてる聴診器からも心臓の状態がわかります。普段は「ドクン、ドクン」という規則正しいリズム音がします。しかし心臓弁に異常があると、間に「カチッ」とか「ザー」とか、かみなり様のような「ゴロゴロ」という音がします。

「胸部レントゲン検査」も肺だけでなく、心臓の大きさの異常が観察できます。

通常メンテナンスとしては以上の検査が一般的ではないでしょうか。もし、これで異常が見つければ更に詳しくカテーテル検査やMRI検査などを行います。

人の一生を支える丈夫な心臓もトラブルを起こすこともあります。定期的に点検整備して、できるだけ長くお付き合いしましょう。

春一番が吹いたとはいえまだまだ寒い毎日です。体調を崩さないようにお気を付けてください。新しい素敵な出会いがありますように。

